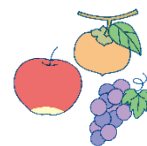




上田市立傍陽小学校だより 令和6年9月30日

光れ！そえひの子



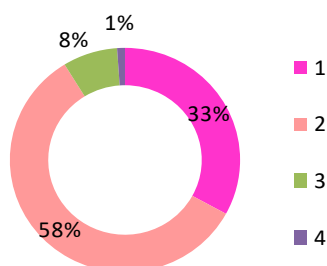
Ⅰ 学期学校自己評価アンケートの結果について

7月に行ったアンケートの結果をお伝えします。内容については、昨年度と同様のものとなっております。結果を踏まえ、今後の児童指導・学校運営に活かして参ります。

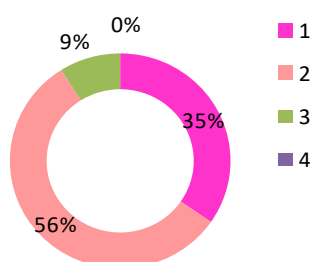
1学期をふり返って(児童評価)

■ 1 そうだ ■ 2 まあそうだ ■ 3 あまりそうでない ■ 4 そうでない

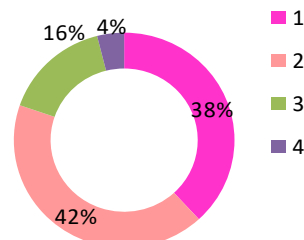
1. 自分から、気持ちの良いあいさつや返事をしていますか。



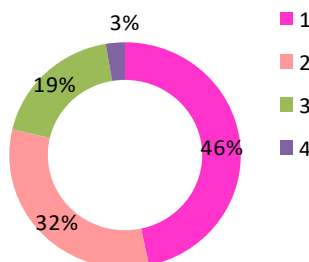
2. 友だちを思いやり、優しい言葉をかけていますか。



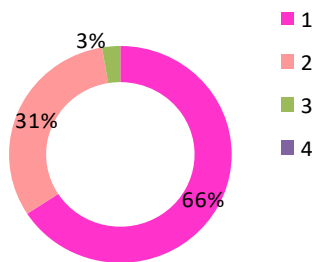
3. 自分で考えたり、思ったりしたことを友だちや先生に話をしていますか。



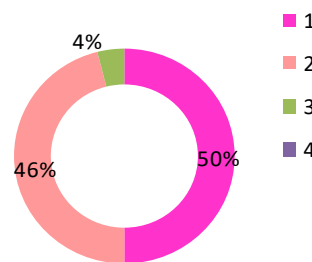
4. 地域での学習や活動を楽しみ、感じたことを伝えていますか。



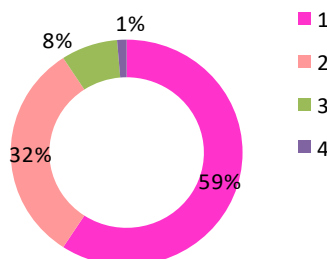
5. 授業は分かりますか。



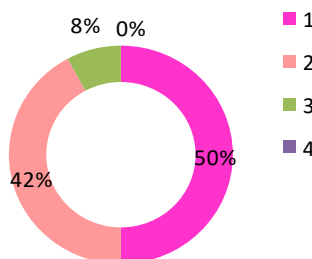
6. 授業中、先生や友だちの話を最後まで聞いていますか。



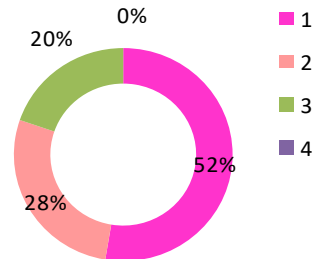
7. 他の学年の友だちと力を合わせて掃除をしたり、仲良くしたりしていますか。



8. 学校の先生たちは、話をよく聞いて、がんばっていることをほめたり、はげましたりしてくれますか。

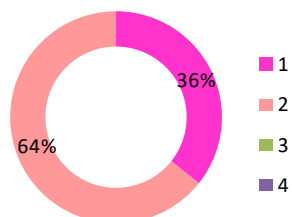


9. 学校は楽しいですか。

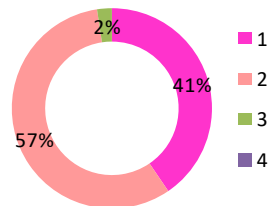


1学期をふり返って（保護者評価）

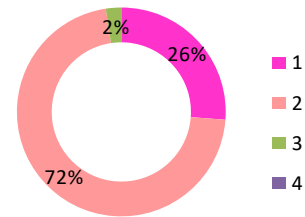
1. 学校は、あいさつや返事、感謝の言葉などを伝え合い、コミュニケーション力を高める指導をしていると思いますか。



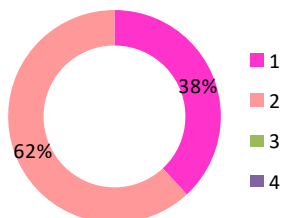
2. 学校は、自他を大切にする気持ちが育つ指導・支援をしていると思いますか。



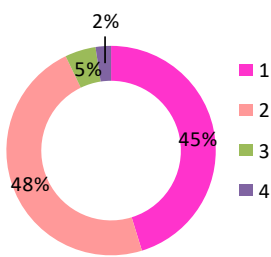
3. 学校は、子どもたちが自分の思いを伝え、表現する力を付けることに努めていると思いますか。



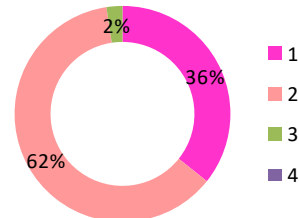
4. 学校は、地域を舞台にした学習や活動に取り組み、地域の方々とのふれあいを大切にしていると思いますか。



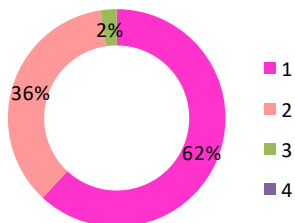
5. お子さんは、授業が分かると話していますか。



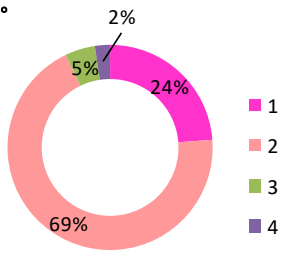
6. 学校は、友だちとの活動や話し合いなどを通して、友だちとのかわりから学ぶ授業に努めていると思いますか。



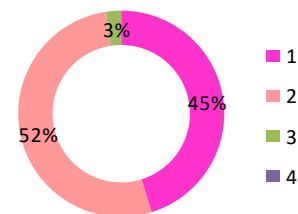
7. 学校は、異年齢との活動を大切にし、協力する大切さを感じたり社会性を身につけたりできるように努めていると思いますか。



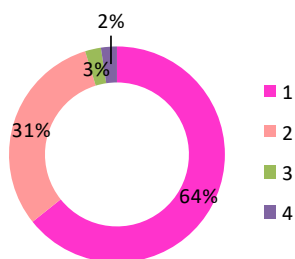
8. 学校は、子どもの様子に目を配り、友だち関係や実態をつかみ、きめ細やかな指導をしていると思いますか。



9. 学校は、学校だよりやホームページ、学年通信などで、子ども達の様子や学校の願いの発信に努めていると思いますか。



10. お子さんは、学校が楽しいと話していますか。



《アンケート結果の考察》

1 児童アンケートより

▼ほとんどの項目で、肯定的評価が90%を超えました。

- ・「授業が分かる」が95%を超えました。授業が分かることは、学校生活の基本であり、また、昨年より肯定的評価が上がっており、嬉しく存じます。肯定的評価でなかった子たちの思いにも寄り添い、授業が分かり、学ぶことが楽しいと思えるよう、努めて参ります。
- ・「自分から気持ちの良いあいさつを～」 「友だちを思いやり～」 「他の学年の友だちと～」 も90%を超えていました。重点目標の具現に向けての「太陽のようなコミュニケーション」に関わるあいさつや返事を意識して取り組んでいる様子や、「支えあう仲間 個と協働の学び」につながる、思いやりや協力を大切にしている様子がうかがえ、嬉しいことです。今後さらに高まるよう、子どもたちが自分たちの良さに気づき、自信を持てるように励ましていきます。
- ・80%は死守したものの、昨年より下がってしまったのが、「学校は楽しいですか」です。子どもたちにとって「楽しい」学校とはどういうものを改めて考え、楽しい学校づくりに努めてまいりたいと存じます。
- ・80%を下回った項目は、「地域での学習や活動を楽しみ、感じたことを伝える」という学校教育目標に関わる項目でした。子ども同士・教師に伝える、保護者・地域に発信する等の機会を作ると同時に、伝え合えたことを認め、自信をつける方策を考えていきます。

2 保護者アンケートより

▼おうちの方の評価も「そうだ・まあまあそうだ」が全項目で90%を超え、高評価をいただきました。ありがとうございます。

- ・あいさつについて、地域での活動やふれあいについての項目が、最も高い評価をいただきました。これからも、気持ちのよいあいさつができる子ども、地域とともにある学校をめざしてまいります。
- ・授業が分かる、学校が楽しいの2項目は、双方90%を超えているものの、まだ工夫の余地があり、子どもたちを中心に考えていってほしいという示唆と受け止めます。学校の本分は授業であるので、さらなる授業改善に取り組めます。また、子どもが楽しいと感じられる学校とはどんな学校かを改めて考え、楽しい学校を目指していきます。
- ・評価が低めだったのが、「子どもの様子に気を配り、きめ細やかな指導～」でした。一人ひとりの子どもとの対話を大切に、きめ細やかな対応をしていきたいと考えます。



3 自由記述より

《児童アンケート》

- ・多くの子どもが、教師から褒められたことをよく覚えていて、嬉しかったと書いています。おやみに褒めるのではなく、できた時に即応して「できたね」と伝えていくことが、子ども一人ひとりの自信につながると考えます。
- ・友だちから「すごいね」と言われたことも嬉しかったという声が多かったです。クラスの中で、異学年の活動の中で、良さを認め合う場面の中で感じる、友だちから認めてもらえた嬉しさが、子どもたち同士の良い関係をつくる土壌になると思われるので、認め合う場面を積極的につくっていきたいと思います。
- ・家庭での嬉しいこととして、テストの点数や宿題のことで褒められたという答えの他に、お手伝いを褒めてもらったという答えも複数見られました。また、苦手なことに取り組んだ時やできなかったことができるようになった時に認めてもらえて嬉しかったという答えも見られました。「人の役に立てた」「頑張りを認めてもらえた」という感じる経験が、自分の存在価値を感じることに繋がります。学校でも結果だけを見るのではなく、過程を大事に考え、また、役割を果たす経験を多く積んでいけるよう、はからっていきます。
- 友だちとの関係で、イヤなことを言われた、されたという声はいくつかありました。子どもたちの様子や関係性に目を配り、きめ細やかな指導をしていくとともに、認め合える関係性を築けるよう考えていきたいと存じます。

《保護者アンケート》

- ・お子さんが嬉しかったり、自信が持てたりすることとして、「先生、友達に自分が行った行動を認めてもらえた時」という内容が多く書かれていました。教師が子どもたちを褒め励まし認める手本となり、子ども同士が認め合える関係性を作っていきたいと思います。また、頑張ったとき、以前よりできるようになったときに褒められることが自信に繋がっているというお声も多くありました。お子さんの努力が認められるよう、支援して参ります。
 - ・高学年の保護者の方からは、音楽クラブの活動が楽しく、また、自信につながっているというご意見を複数いただきました。今年度もコンクールにもたくさん参加させていただき、いい経験を積んでいるかと思います。ご協力、ありがとうございます。
 - 4月のPTA総会で、先生方全員の紹介をしてほしいという声がありました。PTAの方々と相談していきたいと思います。
 - 友人関係のトラブルへの対応を心配していらっしゃる声もありました。一人ひとりとの対話を軸に、子どもたちとの関係をつくり、様子をよく見ていきたいと思います。
- ▼ご多忙の所、アンケートへのご協力、誠にありがとうございました。今後とも、本校へのご理解とご協力のほど、お願い申し上げます。